

令和2年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	令和2年12月4日（金） 於：海上自衛隊那覇航空基地隊
委員	矢吹 哲哉（委員長：琉球大学名誉教授） 堤 純一郎（委員長代理：琉球大学名誉教授） 仲里 豪（弁護士） 原田 泰人（公認会計士） 山城 勝（元沖縄県経営者協会常務理事） （五十音順）

I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象機関	沖縄防衛局
審議対象期間	令和2年7月1日 ～ 令和2年9月30日
審議対象件数	49件

1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

抽出件数	5件	(審議概要)
建設工事	一般競争 1件 指名競争 0件 随意契約 0件	・対象期間における契約状況、指名停止状況について報告 ・審議対象案件における工事・業務概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について説明
建設コンサルタント業務等	4件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【契約状況、指名停止状況について】 ○ 特に意見なし。 【抽出事案について】 ● 工事 一般競争入札方式 嘉手納（2）家族住宅（508）新設機械工事 ○ 3者が無効となっているがどのような理由か。	○ 2者については、入札参加の条件としている入札保証金の納付が無かったことによるものであり、残りの1者は、調査基準

価格を下回った参加者が、調査に必要なヒアリングや資料の提出を断ったため、入札を無効としたものである。

○ 家族住宅の機械工事とのことだが、規模等について説明されたい。

○ 家族住宅9棟の機械工事である。

規模はRC1階建、延床面積205㎡で、空調設備や衛生設備を整備するものである。

○ 1棟当たりで計算すると、かなり高額となるが理由は何故か。

○ 給排水管の建物への引込みの付帯工事も含まれる他、米側基準を採用している。

○ 米軍住宅の場合は、日本の基準ではなく、米側の基準を採用するのか。

○ 日本の法令等を満足した上で、日米合意のもと、米側の基準も採用している。

●業務

公募型プロポーザル方式 シュワブ（R2）ジュゴン監視 等業務

○ 本業務は過去から同じ業者が落札していると記憶しているが、別の業者からの応募はあったのか。

○ 受注者以外の業者からの応募はなかった。

○ 当初に比べると、業務内容に変更は生じているのか。

○ 環境への配慮の観点から、業務内容の見直しは行っている。

一般競争入札方式

コートニー（2）ユーティリティ（0609）土質調査

○ 入札結果を見る限り、入札参加業者が17者もあり、多くの業者が関心をもっていたと思われるが、無効が10者と多く見受けられるのは何故か。

○ 無効については、入札の条件である調査基準価格を下回った際に、品質確保を図ることを目的として、受注者の負担において第三者による履行確認を義務付けており、その条件を実施できなかったことから無効となっている。

他方、ある一定の金額に入札金額が集中しているようにも思われるがその理由は何故か。

入札金額が集中している件については、積算基準が公表されていることで、各社、同じような入札金額になったのかと思われるが、今回は調査基準価格を下回った多くの業者が無効となったこともあり、一定の金額に集中しているように見受けられるのかとも思われる。

	<p>一般競争入札方式 瑞慶覧（R 2）雨水排水測量調査</p> <p>○ 本入札に品質確保基準価格を設定しているが、どのような目的か。</p> <p>一般競争入札方式 シュワブ（R 2）土木設計</p> <p>○ 業務概要について説明されたい。</p> <p>○ 入札参加業者は大手5社による共同体1者のみであるが、内規等により共同体の構成員数に縛りはないのか。</p> <p>○ 共同体の場合は、各評価をどのように行っているのか。</p>	<p>○ 予定価格1000万円以上の場合には調査基準価格を設けているが、予定価格が500万円以上1000万円未満の場合で、先程の案件のように第三者による履行確認を条件とする入札には、基準額として品質確保基準価格を設定している。</p> <p>○ 普天間飛行場代替施設建設事業に関して、土質調査等の結果を踏まえ、平成31年に基本設計を行い、本業務はその基本設計に対し、実施設計を行うものである。</p> <p>○ 共同体の構成員の数について、工事は2社又は3社と決まりがあるが、コンサルタント業務は特に定めていないところである。 コンサルタント業務は、品質を向上させるために、各業者の得意分野を集合させることにより、より良いものが出来るものと考えている。</p> <p>○ 公告の際の評価基準にも記載されているが、共同体については代表者のみの実績等を評価するものである。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>・なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について

<p>談 合 疑 義 件 数</p>		<p>0 件</p>	<p>(審議概要)</p>
<p>工</p>	<p>談 合 情 報</p>	<p>0 件</p>	
<p>事</p>	<p>点 検 結 果 疑 義</p>	<p>0 件</p>	
<p>業</p>	<p>談 合 情 報</p>	<p>0 件</p>	
<p>務</p>	<p>点 検 結 果 疑 義</p>	<p>0 件</p>	

○委員からの 意見・質問	意見・質問		回 答	
○それに対する 回答等				
委員会による意見の具申又は勧告の内容				
3. 入札結果の事後的・分析結果について				
審 議 概 要				
○委員からの 意見・質問	意見・質問		回 答	
○それに対する 回答等				
委員会による意見の具申又は勧告の内容				
4. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数	0件	（備考）	
建設 工事	一般競争（政府調達協定対象外）	0件		
	指 名 競 争	0件		
	随 意 契 約	0件		
建設コンサルタント業務等※		0件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの	意見・質問		回 答	

意見・質問 ○それに対する 回答等		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		

I 海上自衛隊が発注する建設工事等に関する審議

審議対象機関	海上自衛隊		
審議対象期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日		
審議対象件数	3件		
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）			
抽出件数	1件	（審議概要） ・工事の概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯について	
建設工事	一般競争		1件
	指名競争		0件
	随意契約		0件
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>●工事 一般競争入札 通信鉄塔塗装その他補修</p> <p>○ 1者応札の理由は何か。履行難度は高いのか。</p> <p>○ 塗装や補修の周期はあるのか。</p>	<p>○ 業者都合、経営判断によるものと推測するほか、勝連半島の先端に位置するという地理的特性もあり、業者側が敬遠したのではないかと推測される。 さらに、米軍敷地内であることから、米軍を交えた入門手続きの煩雑さも一因と思料する。 また、本件は一般的な工事であり、履行難度は高くない。</p> <p>○ 特に明確な周期はない。 状況により塗装や補修を行う判断をする。</p>	

II 契約実施期間が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象機関	海上自衛隊	
審議対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
審議対象件数	900件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	4件	（審議概要） ・調達の概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯について
建設工事	一般競争	
	指名競争	
	随意契約	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>一般競争入札 CRTディスプレイ、各種</p> <p>○ CRTディスプレイである必要性は何か。CRTディスプレイとは、ブラウン管のことと認識。</p> <p>一般競争入札 潜水服（ドライスーツ）ほか</p> <p>○ 落札率が低い理由は何か。</p> <p>○ ドライスーツとはオーダーメイドなのか。</p> <p>○ 当初は税抜価格により契約し、支払い時にその時点の税率を採用する方法であれば、変更契約の所要も生じないのではないか。</p> <p>○ 契約は7月、納期は12月だが、時間を要するものなのか。</p>	<p>○ 補給上の都合で名称をCRTディスプレイとしているが、実際は液晶ディスプレイである。</p> <p>○ カタログ価格と業者見積価格を比較し、安価な業者見積を予定価格として採用した。落札業者が入札時、見積金額よりも価格を下げたことが原因と思料する。</p> <p>○ ご指摘のとおり。ドライスーツの特性上、隊員個々の体型に合わせる必要があるため、採寸の上、作成している。</p> <p>○ 国は通常契約の要素をなす単価及び数量が確定し契約の総価額が算定されたものについて、この総価を契約金額として締結する契約であるため、税率変更に伴う変更契約が生じる。</p> <p>○ オーダーメイドのため時間を要する。</p>

**随意契約
特別管理産業廃棄物の処理**

- 1社辞退している理由は。
- 最終的にどのような処理方法なのか。
- 品質劣化の理由は。
- 品質保証期間はあるのか。
- 沖縄の高温多湿という保管環境が品質維持に影響しているといったことはないのか。
- 繁忙期により、履行期限内に間に合わないため辞退したと聞いている。
- 処分場での焼却処分である。
- 経年劣化である。
- 特に定められていない。
- 沖縄の気候が品質維持に与える影響について、特段の関係性は確認できていない。

**随意契約（公募）
「えい船76号」年次検査**

- 公募条件で応募できる業者は何社いるのか。
- 公募して随契とはどのような制度なのか。
- 複数社公募に合格した場合、一般競争とどう違うのか。
- 新糸満造船と琉球造船の2社がいる。
- 募集要項により資格審査を行った上で、条件を満たした業者と見積合わせを行い、契約するものである。
- 複数社合格した場合、合格した業者間での競争入札となるため、不特定多数が参加可能な一般競争とは、性質を異とするものである。